

Title	序
Sub Title	Foreword
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1954
Jtitle	史学 Vol.27, No.2/3 (1954. 5) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	慶應義塾史研究特輯
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19540500-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

序

昭和二十六年六月、塾史編纂所が開設されて以來、編纂委員及び所員の不斷の努力によつて、從來不明のまゝになつてゐた塾史の相當部分が明かにされることになつた。他方義塾初年の歴史とは不可分の關係にある創立者福澤諭吉の事歴についても亦、その研究は年々精致の度を加へて來た。しかるに昭和三十三年までに刊行せられる予定の慶應義塾百年史は、刊行卷數に制限がある許りではなく、内容の記述も全般に亘つてゐるので、或る部分について精密な研究があつても、それをそのまま年史に收録することができない。そこで將來に於ける年史編纂の参考に供するためにも、之等貴重な研究業績を今の中に、活字にしておく必要が痛感されてきた。また、今日までに蒐集された關係資料は既に多數に上るのであるが、年史が出來るまでには更に多數の資料が蒐集されるであらう。之等の蒐集資料と、年史には收録することのできない調査研究の業績を保存して、次ぎの年史、例へば義塾の百五十年史若しくは二百年史編纂のために遺すこととは、吾々史學研究家の任務と云つても差支へない。そこで現在までの調査研究の成果を一應まとめて「史學」誌上に掲載して保存に便ならしめると共に、大方の叱正を仰ぐこととした。

先年、昭和二十五年に福澤諭吉五十年忌記念として「史學」（第二十四卷第二・三號）に於て特輯號を刊行したが、このときは福澤家所出の新資料の公表を主たる任務とした關係上、新資料に關する研究に努力が集中され、結果から見て、福澤諭吉並に義塾史に關する部分は恰も幕末特輯の觀を呈した。今回はそのあとにつづくものとして、明治初年以後の特輯となつた。本號の新資料紹介は九鬼家所傳の福澤資料の公表だけで、この他のものは直接福澤研究に關するも

の若干と、他の大部分は義塾史に直接關係するもの許りである。この中でも、慶應義塾初年の學制に關するもの、義塾の小學校教育の在り方、義塾と關係ある外人宣教師に關する調査及び義塾初期の入門姓名錄に關する調査等は貴重な研究であつて、恐らく之れによつて學校制度史に關する特殊研究家を益するところは尠くないものと信する。何故かといへば、幕末、明治初年に於ける各藩出身の學徒はどういう分布狀態を示してゐたかは、明治初年の教育史に重要な頁を占めるものであり、また、義塾の小學校教育は一般初等教育學制とは異つた形態をとり、特異な存在であつたからである。そして更に義塾の學制は、若し英米の學制に或る程度の範をとつてゐるものならば、英か米かの何れであるか、しかも何時頃の若し米國ならば、どの州の學制に近いものであるかは、今日まで明かにされずにあるのであるが、本號に於て之等は一應、解説されてゐる。吾々が敢へて學制研究家に何等かの寄與をするであらうといふのは、この意味である。

「修身要領」の編纂は、福澤諭吉晩年の教育上、看過できない重要な事業の一つである。そして當時之に對する論難攻撃も亦尠くはなかつた。しかも、「修身要領」は編纂公表ののち、かなり永い期間に亘つて義塾教育の根幹となつてゐたものであるが、之れが編纂に至つた過程については、從來、簡略に傳へられてゐるに過ぎなかつたので、今回、關係資料全文を公表して、編纂の過程を明かにすることにした。

尙、本特輯號の刊行は、明治四十一年に本塾大學を卒業した人々で作られてゐる明治四十一年三田會の援助によつて、昨年春から計劃されたものである。末尾に特記して同會々員の御好意に對して厚く感謝の意を表し度い。

昭和二十九年四月

慶應義塾塾史編纂所長 間 崎 万 里